

第6次斜里町総合計画

概 要 版

みどりと人間の調和を求めて

2014-2023

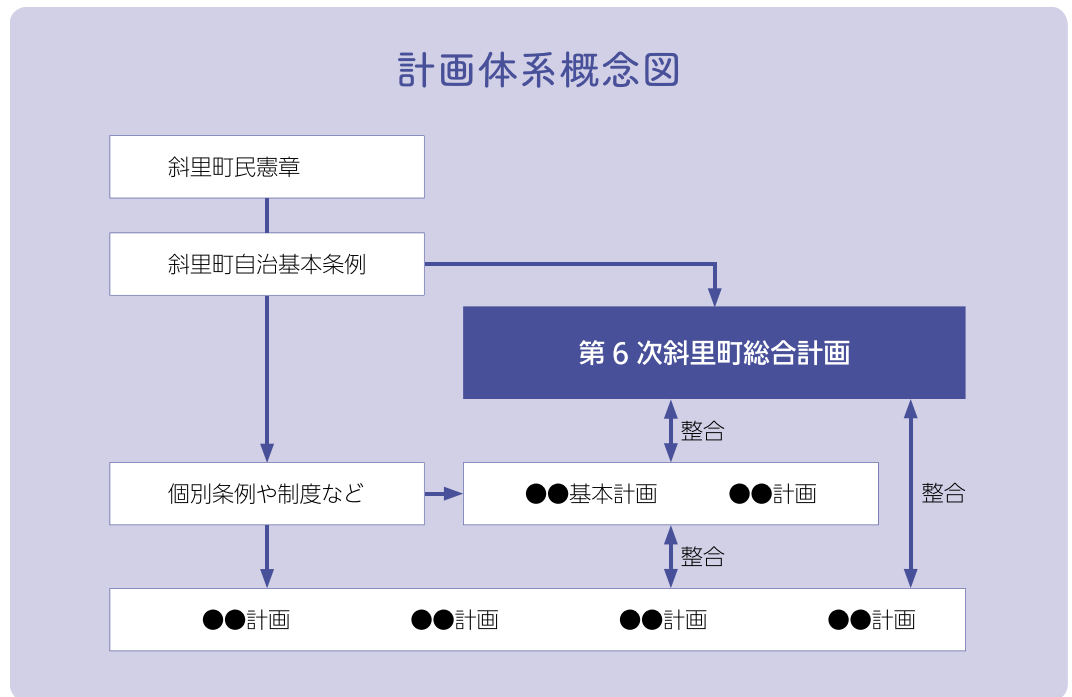


計画の目的

次世代に向かって私たちがめざすまちの姿やまちづくりの方向性を町民・議会・行政で共有し一緒に取り組んでいくため、そして、自治基本条例に基づく総合的かつ計画的な町政運営を図るため、本計画を策定しました。

計画の位置付け

斜里町では、平成 25 年に施行した自治基本条例によって、総合計画に基づく総合的かつ計画的な調整運営を図っていくことが規定されており、本計画は、基本条例を根拠に策定される初めての最上位計画と位置付けられます。



計画の期間

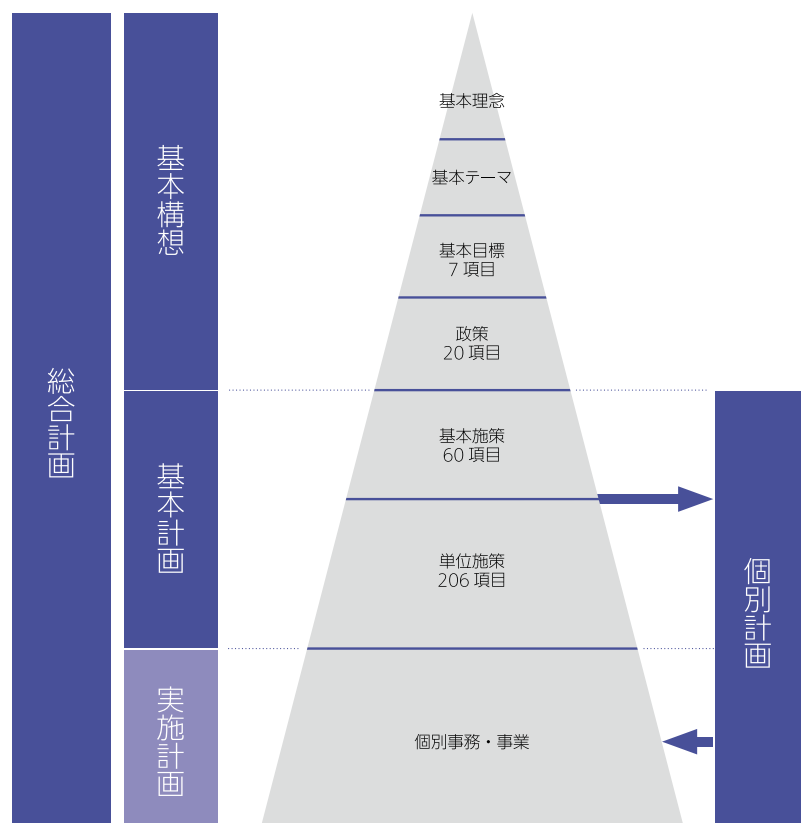
本計画は、平成 26 年度（2014 年度）から平成 35 年度（2023 年度）までの 10 年間を計画期間とします。

計画の全体像

総合計画で示されるまちづくりに関する事項は、「基本構想」と「基本計画」に大別されます。

基本構想では、「基本理念」、「基本テーマ」、「7 つの基本目標」、「20 の政策」を示し、補完事項として「重点プロジェクト」、「計画体系」、「計画の主要指標」も記載しています。

基本計画では、「基本施策」および「単位施策」を示しています。



計画の施策体系

基本テーマである「幸せを実感できる住みよいまちづくり」を実現するために、町民・議会・行政は具体的な目標を共有し、その目標に向かって連携しながら真摯に取り組んでいく必要があります。

まちづくりの方向性を具体的に共有できるよう7つの基本目標と、20の政策、60の基本施策、さらに、12の重点施策を掲げました。

基本構想				基本計画	
基本理念	基本テーマ	基本目標	政策	基本施策	
みどり と 人 間 の 調 和 を 求 め て	幸 せ を 実 感 で き る 住 み よ い ま ち づ く り	1 自然と共に 生きることができる 住みよいまちをめざす	1 人と自然が共生する豊かな環境づくりの推進	重点1	1 自然環境の保全と適正利用の推進
					2 野生生物の保護管理の推進
		2 持続的発展が可能な循環型社会づくりの推進			3 生活環境の保全
					1 地球温暖化防止対策の推進
		2 足腰の強い 産業をめざす			2 ごみの減量・資源化の推進
				重点2	3 適切なごみ処理の推進
		3 快適なまちをめざす	1 力強い産業基盤の構築		1 産業基盤整備の推進
					2 資源の持続的活用の推進
		2 足腰の強い 産業をめざす	2 知床しゃりの展開		3 戦略的経営の促進
				重点3	1 イメージ戦略の推進
		3 快適なまちをめざす	3 担い手の育成と確保		2 海と大地の恵みの提供
					3 地元食材の消費拡大
		4 安全安心な くらしをめざす	1 快適に暮らせる住環境の整備		1 雇用の流動的活用の推進
					2 就労者の支援
		5 いきいきと自分らしく 健やかに暮らせる まちをめざす	2 快適に暮らせる社会基盤の整備		3 担い手確保と技術継承
				重点4	1 都市機能の整備
		6 心豊かにつながり 学び合うまちをめざす	1 命とくらしを守る防災体制の整備		2 民間住宅の建設の促進
					3 公営住宅整備事業の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	2 水を守る安定した上下水道の整備		1 道路の整備促進
					2 道路の適正な維持管理
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	3 命を守る消防救急体制の充実		3 冬期道路交通の確保
					4 海岸と河川の保全
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	4 くらしの安全安心の推進	重点5	1 防災計画の充実
					2 災害に強い社会基盤づくり
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	1 いつも元気に安心して暮らせるまちの実現		3 防災対策の充実と意識の向上
					1 水源、水質、水量の安定供給の確保
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	2 気持ちの通う高齢者福祉の充実		2 汚水処理事業の継続と水洗化普及
					3 上下水道事業の健全経営
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	3 一緒に支え合う地域福祉の充実		1 消防施設・設備と組織の充実
					2 救急体制の強化
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす	4 希望を持って子育てできるまちの実現		3 防火意識・救命知識の向上
					1 犯罪の防止と交通安全の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			2 くらしの相談体制の充実
				重点6	1 地域に根ざした国保病院の充実
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			2 地域医療体制の充実
				重点7	3 生涯を通じた健康づくりの推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす		重点8	1 高齢者の生活を支援する取組みの促進
					2 介護保険サービスと介護予防事業の充実
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			3 高齢化社会を支える人づくり
					1 地域のネットワークづくり
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			2 障がい者への総合支援と社会参加の促進
					3 福祉相談機能の充実
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす		重点9	1 子育て支援の充実
					2 保育の充実
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			3 障がい児支援の充実
				重点10	1 教育内容の改善と向上
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			2 教育環境の向上
					3 地域と学びあう学校教育の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			1 地域資源を活かした交流活動の充実
					2 生活習慣を育む家庭教育力の向上
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			1 公民館を活用した生涯学習の充実
					2 健康づくりとスポーツ活動の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			3 暮らしに寄りそう魅力的な図書館の運営
					4 自然と歴史を守り、学ぶ博物館活動の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			1 情報公開と情報共有の推進
				重点11	2 町民参加と協働の推進
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす			3 魅力ある地域活動の推進
					4 多様な交流の展開
		7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす		重点12	1 効果的・効率的な行政運営
					2 足腰の強い財政基盤の確立



基本目標 1

自然と共に生きることができる 住みよいまちをめざす

政策 1-1 人と自然が共生する豊かな環境づくりの推進

1-1-1 自然環境の保全と適正利用の推進

重点施策 1

●目的・目標

世界自然遺産をはじめとする本町の多様な自然環境の保全と適正な利用を図り、その価値を次世代に継承します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	自然環境や野生動物対策に対する満足度	3.26pt (H24)	3.33pt	3.42pt
2	100平方メートル運動の森・トラスト参加件数 (累計)	16,458件	20,000件	25,000件

●単位施策 100 平方メートル運動の森・トラストの推進、世界自然遺産地域をはじめとする自然環境の保全、国立公園内利用適正化対策の推進

1-1-2 野生生物の保護管理の推進

●目的・目標

野生生物の保護管理を進めるための調査研究活動を推進し、科学的知見に基づく個体群の維持存続と、希少種の保護、外来種対策を進めるとともに、野生生物と地域住民の生活、産業との軋轢を軽減し、共存をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	自然環境や野生動物対策に対する満足度(1-1-1 に同じ)	3.26pt (H24)	3.33pt	3.42pt
2	野生鳥獣による農業被害額(年間)	35,973千円 (H24)	32,000千円	30,000千円

●単位施策 野生生物保護管理対策の推進、調査研究活動の推進、野生生物との共存のための普及啓発

1-1-3 生活環境の保全

●目的・目標

大気・水・土壌環境を良好な状態に保つことにより、町民の健康の保護及び生活環境の保全をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	定点環境測定箇所数	1箇所(H24)	1箇所以上	1箇所以上
2	上下水道、浄化槽整備の満足度	3.57pt (H24)	3.64pt	3.75pt
3	浄化槽設置世帯数	360世帯	400世帯	460世帯

●単位施策 公害対策の推進、水環境の保全

政策 1-2 持続的発展が可能な循環型社会づくりの推進

1-2-1 地球温暖化防止対策の推進

●目的・目標

再生可能エネルギーの活用やエネルギーの効率化を図ることにより、温室効果ガスを削減し、地球温暖化の防止をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	住宅用太陽光発電システム導入戸数(累計)	103戸	154戸	214戸
2	公共施設への再生可能エネルギー導入施設数	5件(H24)	5件以上	5件以上

●単位施策 再生可能エネルギーの導入、省エネルギーの推進

1-2-2 ごみの減量・資源化の推進

●目的・目標

ごみの減量・資源化の取組を継続的に実施することにより、循環型社会づくりを推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	ごみ処理や資源リサイクル対策に対する満足度	3.62pt (H24)	3.7pt	3.80pt
2	一日一人あたりごみ排出量(年間)	421g	409g以下	395g以下
3	ごみの排出量(年間)	5,295t	4,613t	4,380t
4	リサイクル率	49.6%	67%	70%以上

●単位施策 ごみの排出抑制、リサイクルの推進

1-2-3 適切なごみ処理の推進

重点施策 2

●目的・目標

恒常的に排出されるごみを安定的に処理し、不適正なごみ処理をなくすことで、環境美化を推進し、ごみによる環境負荷の低減をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	ごみ処理や資源リサイクル対策に対する満足度(1-2-2に同じ)	3.62pt (H24)	3.7pt	3.80pt

●単位施策 安定的なごみ処理の推進、不法投棄・野外焼却対策等の推進



基本目標 2 足腰の強い産業をめざす

政策 2-1 力強い産業基盤の構築

2-1-1 産業基盤整備の推進

●目的・目標

農林水産業における生産基盤をはじめ、商業や工業、観光のための街並みなど、各分野での基盤整備と維持を推進し、力強い産業基盤の構築をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	農業(農地)基盤整備の進捗(今後10年間の道営事業費の進捗状況)	0%	55%	100%
2	漁業基盤整備の進捗(漁港整備及び強い水産業づくり交付金事業の進捗状況)	57.3%	80%	100%

●単位施策 農業基盤の整備、水産基盤の整備、林業基盤の整備、商工業の振興、観光業の振興

2-1-2 資源の持続的活用の推進

●目的・目標

斜里町の産業は、生産物や自然環境・観光景観など、多様な資源の適正な利用により成り立っており、これら資源の循環的利用や栽培・育成により、資源を枯渇させない再生力を高める仕組みづくりを推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	農業生産額	103億円	100億円	100億円
2	漁獲高	118億円	110億円	110億円
3	観光消費額	124億円	120億円	120億円

●単位施策 農業の持続的推進、水産資源の持続的活用、森林資源の持続的活用、商工業資源の活用、観光資源の活用

2-1-3 戦略的経営の促進

●目的・目標

事業者や経済団体の経営基盤の強化や整備と、多様な連携・協力の仕組みづくりを推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	農業：L資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	166件	160件	160件
2	漁業：近代化資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	44件	40件	40件
3	商工業：近代化資金貸付件数(年度末の貸付総件数)	11件	10件	10件

●単位施策 制度資金の活用と促進、経済団体等への支援、情報システムの拡充

政策 2-2 知床しゃりの展開

2-2-1 イメージ戦略の推進

重点施策 3

●目的・目標

雄大な自然環境の中で育まれる、安心安全を念頭にして、クリーンな産業イメージを追求し、「知床しゃり」をキーワードにした、新たな魅力の開発と定着に努めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	知床しゃりブランドの申請数	16品	5品	5品

●単位施策 環境保全型産業のPR、新たな魅力の発掘と創造、魅力的な観光の推進

2-2-2 海と大地の恵みの提供

●目的・目標

6次産業化や産業連携により、知床しゃりで生み出される安全・安心な魅力と商品の提供への取り組みを図ります。

	成果指標	H25	H30	H35
1	知床しゃりブランドの販売実績	4.2億円	5億円	6億円

●単位施策 ブランド力を持たせた付加価値の向上、産業連携の推進、多様な商品提供の促進

2-2-3 地元食材の消費拡大

●目的・目標

地元の食材の魅力を伝え、地域消費の拡大を推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	学校給食における斜里町産品の割合(金額ベース)	8.9%	9.5%	10%

●単位施策 地域の味の伝承、地産地消の推進、地域消費の拡大

政策 2-3 担い手の育成と確保

2-3-1 雇用の流動的活用の推進

●目的・目標

作業委託の活用や異業種交流を含めた既存労働力の流動化を図り、潜在的労働力を呼び込める労働環境を整え、季節的に不足する労働力の確保と雇用の安定に努めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	求職情報提供の箇所数	3箇所	5箇所	5箇所

●単位施策 作業委託の活用促進、就労機会の提供拡大

2-3-2 就労者の支援

●目的・目標

就労者のスキルアップと斜里町で家庭を持ち産業を担う就労者の支援を推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	スキルアップ研修の実施状況	7講座11名	8講座10名	8講座10名

●単位施策 新規就労者の支援、スキルアップと就労喚起、安心して働ける就労環境の整備と支援

2-3-3 担い手確保と技術継承

●目的・目標

将来の担い手や配偶者、技術の継承の確保が求められ、後継者探しやシニア世代の活用と担い手を育成する取り組みと仕組みづくりを推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	労働人口に対する就業人口割合	95.8%	96%	96%

●単位施策 事業継承の推進、シニア世代の就労環境整備

基本目標 3 快適なまちをめざす

政策 3-1 快適に暮らせる住環境の整備

3-1-1 都市機能の整備

●目的・目標

秩序ある健全な斜里市街地将来像を示す「都市計画マスタープラン」に沿って高齢化社会にも対応出来る街並みをめざすとともに、公共施設や避難施設への誘導をわかりやすく案内する効率的な案内標識を整備します。

また、身近な緑を充実させることにより潤いと安らぎを与える公園緑地の再整備を積極的に行い快適に暮らせる住環境の整備を促進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	公共施設や避難施設への誘導案内看板の設置数	2基	13基	30基
2	公園施設長寿命化計画の進捗状況率	8%	36%	64%

●単位施策 高齢者等に配慮したまちづくり、案内標識の整備推進、公園緑地の整備推進、墓地・火葬場の整備推進、情報通信基盤の整備促進

3-1-2 民間住宅の建設の促進

重点施策 4

●目的・目標

民間の協力により、高齢者に配慮した集合住宅等の建設や民間の技術力を活用した寒冷地向け住宅の建設促進をすることで、快適なまちをめざします。また、空き家対策では、国や道の支援策の活用により有効な施策の検討をすすめ、快適なまちをめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	高齢者向け集合住宅の建設戸数と情報提供の発信回数	0回	5回	10回
2	寒冷地向け住宅の建設戸数(北方型住宅、北方型eco住宅の認定を受けた建物)と情報提供の発信回数	0回	5回	10回

●単位施策 高齢者に配慮した集合住宅建設の促進、寒冷地向け住宅の建設促進、空き家住宅の利活用の促進

3-1-3 公営住宅整備事業の推進

● 目的・目標

「斜里町町営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の計画的整備や改修を行うことで、安心して暮らせる住生活環境の整備を進めます。団地毎の老朽の程度により建替による整備や改修の実施により住生活環境の改善を進めます。

同計画により公営住宅全体の管理戸数を568戸から525戸とします。

● 単位施策 公営住宅の整備の推進、公営住宅再生事業の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	長寿命化計画に基づき、管理戸数525戸の内、建替、改修を行う団地の戸数を409戸とし、割合は77.9%とします。	11.2%	63%	77%

政策 3-2 快適に暮らせる社会基盤の整備

3-2-1 道路の整備促進

● 目的・目標

安全・安心な道路網を形成するため、国道・道道の未整備区間や老朽化した道路施設の整備促進を図ります。

また、計画的な町道整備を推進すると共に、歩道バリアフリー事業を推進し、社会基盤整備の充実に努めます。

● 単位施策 国道・道道整備の促進、町道整備の推進、歩道バリアフリー整備の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	町道の改良舗装普及率	43.4%	44%	44.5%
2	歩道バリアフリー整備の進捗率	29.4%	35%	46%

3-2-2 道路の適正な維持管理

● 目的・目標

日常的なパトロールによる予防管理型の補修を行い道路施設の長寿命化を図ります。また劣化が著しく機能低下に陥っている道路施設については、修繕・更新計画の作成を推進します。

● 単位施策 道路維持の推進、橋梁長寿命化修繕計画の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	橋梁長寿命化修繕計画の進捗率	3%	15%	70%

3-2-3 冬期道路交通の確保

● 目的・目標

冬期道路交通を確保するために、今後も継続的に除排雪の効率化、町民との協働及び各道路管理者間の連携強化などを推進します。

● 単位施策 除排雪態勢の見直し、除雪機械・オペレーターの確保、除排雪の協働作業の検討、各道路管理者間の連携強化

	成果指標	H25	H30	H35
1	除排雪の満足度調査	2.77pt	3.10pt	3.25pt

3-2-4 海岸と河川の保全

●目的・目標

海岸や2級河川の改修工事の整備促進を図るために、今後も地元要望の取りまとめや関係者への事業説明を行っていきます。

また普通河川は、流水の正常な機能維持と河川環境の保全に配慮し、なお海岸、河川の各管理者などと連携して水質の保全に努めます。

●単位施策 海岸保全対策の促進、斜里川水系河川整備計画の整備促進、普通河川の整備及び保全の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	斜里川水系河川整備計画の進捗率	55.8%	62%	69%



基本目標 4 安全安心なくらしをめざす

政策 4-1 命とくらしを守る防災体制の整備

4-1-1 防災計画の充実

重点施策 5

●目的・目標

斜里町地域防災計画を頂点とする各種防災計画や防災マップを定期的に見直しまたは新規に策定し、防災・減災体制を充実します。

●単位施策 地域防災計画の定期的な見直し、各種計画の整備・充実、防災マップの改訂

	成果指標	H25	H30	H35
1	アンケート調査による「防災・災害対策」の満足度	2.97pt (H24)	3.10pt	3.25pt

4-1-2 災害に強い社会基盤づくり

●目的・目標

被災リスクを低減させるためには、社会基盤の整備・充実が不可欠かつ効果的であることから、関係機関と連携しつつ、計画的な整備を進めていきます。

●単位施策 社会基盤の防災対策の強化、社会基盤の適正な管理、関係機関との連携強化

	成果指標	H25	H30	H35
1	指定避難所の耐震化率の向上	57.1%	65%	70%

4-1-3 防災対策の充実と意識の向上

●目的・目標

各種防災計画に記載の事項を災害時に確実に実行するため、防災対策の充実や防災意識の向上に取り組み、減災および災害対応力の強化をめざします。

●単位施策 自主防災組織の強化、災害時の情報連絡体制の充実、防災備蓄品・資機材の充実、防災意識の啓発と防災教育の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	自主防災組織の組織率	65% (24/37)	81% (30/37)	100% (37/37)
2	「ほっとメール@しゃり」の登録者数	1,900人	2,200人	2,500人

政策 4-2 水を守る安定した上下水道の整備

4-2-1 水源、水質、水量の安定供給の確保

● 目的・目標

水源の監視体制や侵入対策など危機管理体制の見直しを行い、老朽管の更新や複線化などにより、災害時における水道水の安定供給をめざします。

また防災訓練や広報などを通じ、災害時の対応方法などについて行政と町民で共有を図ります。

● 単位施策 水源、水質、水量の安全確保、安定供給の確保、災害時の水の確保

	成果指標	H25	H30	H35
1	年間の漏水箇所数	18箇所 (H24)	20箇所以下	20箇所以下

4-2-2 汚水処理事業の継続と水洗化普及

● 目的・目標

生活環境の維持・向上のため、下水道や浄化槽の普及に努めます。また、老朽化した施設等を計画的に更新することによって、下水道施設の安定した運転をめざします。

● 単位施策 下水道事業の普及促進、浄化槽事業の普及促進、下水道施設の更新

	成果指標	H25	H30	H35
1	下水道の水洗化率	87.8%	89%	90%
2	浄化槽設置世帯数	360世帯	400世帯	460世帯

4-2-3 上下水道事業の健全経営

● 目的・目標

公営企業会計では料金収入等を主とした独立採算が求められているため、経営状況に合わせた料金改定を行います。

また、健全経営のために減価償却費や企業債を圧縮するほか、未収金は回収に向けた様々な手法を用いながら、他の徴収部門と連携して取り進めます。

● 単位施策 経営の管理・監視、資産及び負債の圧縮、未収金の解消

	成果指標	H25	H30	H35
1	借入額の返済額に対する割合	65.9% (H24)	80%	80%

政策 4-3 命を守る消防救急体制の充実

4-3-1 消防施設・整備と組織の充実

● 目的・目標

迅速かつ確実な消防救急救命業務を行うため、消防施設や設備の計画的な更新を進めるとともに、消防職員および団員の確保や適正配置、強化に努めていきます。

● 単位施策 消防施設等の整備、消防車両、装備、水利の充実、消防体制の整備

	成果指標	H25	H30	H35
1	消防水利の面積充足率	66.9%	70%	75%
2	消防団員の充足率	93.7%	96.5%	100%

4-3-2 救急体制の強化

●目的・目標

救急要請が増加し、任務内容も高度化する救急救命業務に対応するため、救急救助体制を充実・強化し、救命率の向上に努めます。

●単位施策 救急業務の高度化の推進、救助業務の充実強化

	成果指標	H25	H30	H35
1	認定救命士(薬剤投与)資格者数	11名	16名	21名

4-3-3 防火意識・救命知識の向上

●目的・目標

町民の防火意識や救命知識の向上のため、防火予防対策や消防設備の設置・点検、防火組織の育成指導、応急手当技術の普及啓発を推進します。

●単位施策 予防対策の推進、民間の防火組織の育成指導、応急手当の普及啓発

	成果指標	H25	H30	H35
1	住宅用火災警報器普及率	58.8%	60%	65%
2	救急講習受講者数	705人	750人	750人

政策 4-4 くらしの安全安心の推進

4-4-1 犯罪の防止と交通安全の推進

●目的・目標

国、北海道、警察、地域自治会と連携、協力しながら町民を犯罪及び交通事故の加害者にも被害者にもさせないため、意識高揚と環境整備を図り、減少に努めます。

●単位施策 防犯環境の整備、防犯意識の啓発・高揚、交通安全環境の整備、交通安全意識の啓発・高揚

	成果指標	H25	H30	H35
1	町内犯罪件数	52件	39件	26件
2	交通事故数	358件	330件	300件
3	死亡事故件数	3件	0件	0件

4-4-2 くらしの相談体制の充実

●目的・目標

安心、安全な暮らしを維持していくため、また、町民が健やかに生活できるよう各団体、機関等と連携強化を図ります。

●単位施策 消費者保護と活動の推進、相談窓口の充実、相談員の情報共有

	成果指標	H25	H30	H35
1	消費者被害数	0件	0件	0件
2	消費者相談件数	24件	60件	100件





基本目標 5

いきいきと自分らしく 健やかに暮らせるまちをめざす

政策 5-1 いつも元気に安心して暮らせるまちの実現

5-1-1 地域に根ざした国保病院の充実

重点施策 6

● 目的・目標

医師や医療従事者等のマンパワー不足の改善と資質向上を図るとともに、病院に対する町民の理解と協力を求め、信頼される安心と思いきやりのある病院をめざし、地域医療の中核を担う責任を果たします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	常勤医師数	内科3名 外科2名	内科3名 外科2名	内科3名 外科2名
2	病床数	111床	111床	111床
3	看護師1人に対する患者数	15人	13人	13人
4	満足度調査による平均点	2.4点	向上	向上

- 単位施策 医師・医療従事者等のマンパワー不足の改善、医療サービスの向上、病院ボランティアの育成、経営の安定化と医療施設の整備、高齢化社会への対応

5-1-2 地域医療体制の充実

● 目的・目標

町内医療機関の連携や斜網地域の中核病院、専門病院等の医療機関との広域連携、救急医療体制を強化し、医師不足等の厳しい状況にある地域医療体制の維持・充実に努めます。

また、地域における一定の急性期、慢性期患者等に対応できる医療体制の継続に向けて、診療体制の維持に努めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	町内外の連携医療機関数	8ヶ所	8ヶ所	8ヶ所

- 単位施策 町内医療機関の連携と広域医療体制の充実、救急医療の充実

5-1-3 生涯を通じた健康づくりの推進

重点施策 7

● 目的・目標

町民の健康づくり推進のために、関係機関が連携を図り、各種相談支援・検診体制の強化・情報提供等のサービス支援を行い、町民一人ひとりの健康意識の高揚に努め、特定健康診査や各種検診の受診率を高めることで、町民の健康増進を進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	特定健診受診率	26%	向上	向上

- 単位施策 健康づくり意識の高揚、母子保健活動の充実、学童・成人・高齢者への保健対策の充実、感染症予防対策の強化、精神・難病対策の充実、保健指導管理体制の充実、医療保険制度の適正な運用と充実

政策 5-2 気持ちの通う高齢者福祉の充実

5-2-1 高齢者の生活を支援する取組みの促進

重点施策 8

● 目的・目標

高齢者の社会参加を推進し、生きがいを
持って心身共に健康な生活を過ごすことが
できる町の実現をめざします。また、高齢になっ
ても住み慣れた地域で安心して暮らすことが
できるよう支援を行うと共にネットワーク体
制の充実や生活環境整備に努めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	高齢者に関する相談件数	125件	向上	向上

● 単位施策

高齢者の社会参加の促進、高齢者の生きがいづくりの推進、高齢者の生活環境整備の促進、高齢者等の交通確保、在宅福祉サービスの充実、保健・福祉・医療が一体となった高齢者支援体制の確立、高齢者支援ネットワークの構築、高齢者に関する総合的な相談機能の充実

5-2-2 介護保険サービスと介護予防事業の充実

● 目的・目標

介護保険サービス等のニーズを的確に把握
し、介護保険事業計画に基づく円滑で適切な
事業運営をめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	介護予防事業への参加人数	150人	向上	向上

● 単位施策

介護保険事業の安定と健全化、介護保険サービスの充実、介護予防活動の推進

5-2-3 高齢化社会を支える人づくり

● 目的・目標

高齢化社会を支えていくために、必要となる
介護職場における従事者や、介護予防事業推
進のために必要となる保健師等専門職のマン
パワー不足の解消と人材育成に努めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	介護職員初任者研修受講者数	10人	向上	向上
2	町内における介護研修の開催数	2回	向上	向上

● 単位施策

介護職場労働環境等の整備推進、介護研修等の開催、福祉・介護を理解する取組みの推進、有資格者等を活用する仕組みづくりの支援、事業者・ボランティア・地域住民等による自主活動の推進

政策 5-3 一緒に支え合う地域福祉の充実

5-3-1 地域のネットワークづくり

● 目的・目標

年齢や世代、性別、障がいの有無に関わら
ず、地域全体がお互いに支え合える体制づく
りを進めるため、社会情勢の変化や社会問題
に対応するよう、地域コミュニティの再生や、
地域住民同士の「つながり（ネットワーク）」を
再構築し、お互い尊重し認め合う共生による
地域づくりを推進します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	ボランティア保険の加入者数	296人	向上	向上
2	ふれあいネットワーク参加自治会数	28自治会	向上	向上

● 単位施策

地域における支え合い活動の推進、地域における総合的な保健・福祉サービスの利用の推進、地域福祉を推進する体制づくり

5-3-2 障がい者への総合支援と社会参加の促進

●目的・目標

障害福祉サービス等の支援により、障がいのある方の社会復帰、社会参加の促進をめざすべく、障がいのある人もない人も、乳幼児期から高齢期に至るまで生涯を通じて総合的なサービスを受けられる体制を整備し、安心と生きがいを持って生活できる町をめざします。

●単位施策 早期発見・早期支援の充実、就労支援体制の強化、生活支援の充実

	成果指標	H25	H30	H35
1	福祉サービス利用者数	104人	向上	向上
2	特定相談支援事業所数	1ヶ所	向上	向上

5-3-3 福祉相談機能の充実

●目的・目標

ひとり親家庭には、経済面と子育ての両面からの支援が必要であり、ひとり親家庭のライフラインに配慮しながら経済的自立を目標とした支援に努めます。

また、生活保護受給者をはじめとする低所得者に対しては、自立・更生を促し、健康で文化的な生活を保障する必要な諸施策を実施します。

●単位施策 経済的自立・更生の援助、福祉相談機能の専門化

	成果指標	H25	H30	H35
1	生活保護者世帯数・人数	148世帯 206人	低減	低減
2	児童扶養手当受給者数	113人	低減	低減
3	母子福祉資金利用者数	2人	2人	2人
4	生活福祉資金利用者数	3人	3人	3人

政策 5-4 希望を持って子育てできるまちの実現

5-4-1 子育て支援の充実

重点施策 9

●目的・目標

子育ての不安や孤立化を防ぎ、子育ての時期を楽しみながら親子が共に育つことができるよう支援し、さらに発達に課題を抱える児童の発見の精度を高めると共に適切な支援を行います。

また、さまざまな就労形態の家庭の子育てへの支援や、放課後児童の健全育成を推進します。

●単位施策 子育て支援事業の充実、子育て家庭への育児支援の拡充、児童の健全育成の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	子育て支援センターの利用者数(親子)	4,500人	向上	向上

5-4-2 保育の充実

●目的・目標

子育て家庭の多様な保育ニーズに対応するため、「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼児期の保育・教育・子育て支援を総合的に推進します。また、発達に課題を抱える児童の保護者に対して相談機能や支援の充実をめざします。

●単位施策 保育・教育・子育て支援の総合的な推進、保育サービスの充実、保育園の子育て相談機能の充実

	成果指標	H25	H30	H35
1	待機児童数	4人	低減	低減

5-4-3 障がい児支援の充実

● 目的・目標

障がいや発達の遅れを早期に発見し問題となる状態の軽減や二次的障がいの予防を図るため、適切な対応や環境調整を図ります。また、適切な教育の場の選択、進路や就労の選択のための支援の充実を図ります。

	成果指標	H25	H30	H35
1	発達支援に関する相談者数(乳幼児健診、発達相談、幼稚・保育園巡回相談)	76人	76人	76人
2	関係機関連携会議開催数	12回	向上	向上

● 単位施策

障がいを発見する精度の向上と対応の適正化、斜里地域子ども通園センターの機能と療育指導体制の充実、ライフステージに合わせた障がい児支援の充実



基本目標 6

心豊かにつながり学び合うまちをめざす

政策 6-1 地域とつながる学校教育の推進

6-1-1 教育内容の改善と向上

重点施策 10

● 目的・目標

「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな体」のバランスのとれた力を育てるため、多様な教育内容の充実に向けて、地域の人材や補助制度などを活用し、教育環境の整備を進めます。

特に学力の向上にむけて、体制整備や教員の学びあう環境づくりを進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	全国学力・学習状況調査の全科目平均(全道対比 上段:小学6年生・下段:中学3年生)	△15.2% △19.4%	同等 同等	同等 同等
2	平日の家庭読書の時間～30分以上(上段:小学6年生・下段:中学3年生)	32.5% 28.5%	50.0% 50.0%	55.0% 55.0%
3	家で自分で計画を立てて勉強する(している・どちらといえばしている)(上段:小学6年生・下段:中学3年生)	43.0% 47.9%	55.0% 55.0%	60.0% 60.0%
4	平日の体育の時間をのぞいた運動やスポーツの実施頻度(「週1～2回以上」の男女平均 上段:小学5年生・下段:中学2年生)	72.8% 82.8%	80.0% 85.0%	80.0% 85.0%

● 単位施策 基礎学力の定着、学力向上に向けた体制の整備、授業力の向上、豊かな人間性の育成、体力の向上と健康教育、特別支援教育の充実

6-1-2 教育環境の向上

● 目的・目標

学校の総合的な教育力の向上に向けて、教職員だけでは困難な事例での地域の専門機関や人材とのネットワークづくりを進めます。

小学校の再編統合をふまえて、必要な学校施設の整備や教職員住宅の確保・更新を計画的に進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	斜里町立学校図書整備割合(文科省基準比:全校平均)	64.9%	70%	75%
2	築30年以内の教職員住宅戸数割合(対教職員数割合)	58.9%	65%	70%
3	学校給食における斜里町産品の割合(金額ベース)	8.9%	9.5%	10%

● 単位施策

課題のある児童・生徒への対応体制の強化、教育の機会均等の保障、学校施設の整備、教職員住宅の整備・更新、小学校の再編統合、学校給食の充実

6-1-3 地域と学びあう学校教育の推進

●目的・目標

様々な学習機会の指導者や環境整備ボランティアなど地域人材を学校に迎え入れるとともに、地域の各種機関や施設などとの交流を進め、学校と地域が学びあう関係をめざします。

また、私立幼稚園・道立高校と町立小中学校との連携を深め、小中高それぞれの入学時の課題の軽減や、共通した課題での進展を図ります。

●単位施策 開かれた学校運営の実現、「ふるさと学」の振興、高校教育の振興、幼児教育の振興

	成果指標	H25	H30	H35
1	地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある児童・生徒の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)(上段:小学6年生・下段:中学3年生)	45.3% 37.8%	50.0% 45.0%	55.0% 50.0%
2	地域資源を活かした学習の実施	100%	100%	100%



政策 6-2 地域を支え育てる人材の育成

6-2-1 地域資源を生かした交流活動の充実

●目的・目標

社会教育機関が連携して、町民の居場所や活動拠点となり、また地域課題を取り上げた講座・講演会・事業などを通して、様々な地域活動に取り組む活動を支援し、地域を担う人材の育成を図ります。

特にこれからの斜里を担う児童・生徒の地域での体験活動を重視し、「生きる力」を育みます。

●単位施策 地域を学び、地域を考える、地域とつながる世代間交流の実践、児童・生徒の体験活動の振興

	成果指標	H25	H30	H35
1	社会教育機関による講座・講演会の実施数	70回	75回	80回
2	講師データバンクの登録者・団体数	20人/団体	25人/団体	30人/団体
3	地域の行事に参加している児童・生徒の割合(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)(上段:小学6年生・下段:中学3年生)	60.4% 61.2%	65.0% 65.0%	70.0% 70.0%

6-2-2 生活習慣を育む家庭教育力の向上

●目的・目標

子育て支援に関わる行政や学校などと連携して、保護者の主体性を尊重しながら、孤立しがちな保護者の学習とネットワークづくりを進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	保護者を対象とした社会教育講座・講演の実施回数	5回	8回	10回
2	朝食を毎日食べる児童・生徒の割合(小3～中3対象、給食センターアンケート)	87%	92%	97%
3	家の人と学校での出来事について話をする児童・生徒の割合(よくしている・時々している)(上段:小学6年生・下段:中学3年生)	73.3% 68.4%	75.0% 75.0%	80.0% 80.0%

●単位施策 「親の育ち」を応援する学習機会の充実、地域教育力の向上

政策 6-3 地域を育む社会教育活動の推進

6-3-1 公民館を活用した生涯学習の充実

● 目的・目標

地域や他の社会教育機関等と協力連携し、公民館に住民が集い、年代別・地域・生活といった幅広い課題に対応する学習機会の提供と実践を行い、生涯学習の活動を推進します。

また、芸術文化活動の意欲を高め、文化団体の育成や支援、優良な芸術作品への鑑賞機会の提供を行うなど、芸術文化活動を推進します。

● 単位施策 生涯各期に合わせた学習機会の提供、地域コミュニケーションの推進、芸術文化の支援体制の推進

	成果指標	H25	H30	H35
1	ゆめホール知床定期利用団体数	48団体	51団体	54団体
2	ゆめホール知床利用人数	80,934人	84,000人	87,000人
3	公民館講座数	1講座	6講座	12講座
4	公演・芸術文化講座数	5公演 12講座	6公演 12講座	6公演 12講座

6-3-2 健康づくりとスポーツ活動の推進

● 目的・目標

気軽にスポーツに触れる機会の提供と指導体制及び施設整備の充実を図ります。

子どものスポーツ機会の充実、学校や地域等において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる環境整備を図ります。

また、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進するため、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じ『いつでも・どこでも・楽しく・安全に』スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会をめざします。

● 単位施策 生涯スポーツ推進と交流の実践、指導者の育成と確保、施設設備の整備と維持

	成果指標	H25	H30	H35
1	公共体育施設の利用人数(体育館・プール・スケートリンク・パークゴルフ場・学校開放等の全利用者数)	81,786人	82,000人	82,000人
2	生涯スポーツ・健康づくり講座数	3講座	8講座	12講座
3	競技スポーツ講座数	2講座	4講座	6講座

6-3-3 暮らしに寄りそう魅力的な図書館の運営

● 目的・目標

町民の暮らしに寄りそう図書館として、知的好奇心に応える資料と情報を提供する学びの場を整え、ゆっくりと滞在できる憩いの場をめざします。

また、地域の人々が気軽に集まり、イベントや企画を行える交流の場として、地域に根ざした図書館運営の充実を図ります。

● 単位施策 町民と築く魅力的な図書館づくりの推進、情報拠点としての体制整備、効果的な読書活動の推進、学校支援の強化

	成果指標	H25	H30	H35
1	図書館利用人数	18,000人	27,000人	31,500人
2	町民一人あたりの貸出冊数	7.42冊	8冊	8.5冊
3	絵本クラブ(1～5歳児対象)への加入割合	16%	22%	28%
4	図書館ボランティアの活動回数(学校での読み聞かせ、「声の広報」活動、保育所巡回等)	250回	280回	310回
5	学校からのリクエスト・テーマ別貸出の冊数	320冊	400冊	480冊



6-3-4 自然と歴史を守り、学ぶ博物館活動の推進

●目的・目標

文化財や歴史的資料、標本、自然環境等の研究を通じて、成果を社会に還元します。

また、町内外へ積極的に情報発信を行い、学習機会を提供することができる高い専門性をもった組織体制と、地域の財産を長期的に保管・公開可能な施設を整備します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	知床博物館入館者数	11,300人 (予想人数)	11,500人	12,000人
2	博物館活動への満足度	満足度 調査実施	満足度 H26年度の 3%アップ	満足度 H30年度の 3%アップ
3	博物館講座・講演会等の参加人数(町民を対象)	1,100人 (H24年度 人数)	H25年度の 3%アップ	H30年度の 3%アップ
4	学校や地域との連携事業数	20事業	25事業	25事業
5	博物館情報アクセス数	実施	H26年度の 3%アップ	H30年度の 3%アップ
6	展示物の更新点数	10点 (H23~25)	10点 (H26~30)	10点 (H31~35)

●単位施策 活発な利用と資料の長期保存できる施設の整備、幅広い情報発信と郷土学習機会の提供、調査・研究・交流の推進、博物館資料・文化財の公開と活用の推進



基本目標 7 町民が主役になって 住みよいまちをめざす

政策 7-1 地域が輝くつながりのあるまちの実現

7-1-1 情報公開と情報共有の推進

●目的・目標

町民の意見や考えが町政に反映されるよう広報広聴を充実させるとともに、行政情報を共有することにより、町民の主体的なまちづくりが推進されることをめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	まちづくり懇談会やデリバリートークの実施回数、参加者数	3回/13人 36回/839人 (H24)	5回/100人 38回/850人	5回/100人 40回/880人
2	パブリックコメント実施件数	4回 (H24)	5回	5回
3	ホームページアクセス件数	52,400 ページ1/月	55,000 ページ1/月	58,000 ページ1/月

●単位施策 情報提供の充実、情報の適正管理、広聴の充実と推進

7-1-2 町民参加と協働の推進

重点施策 11

●目的・目標

町民と行政はそれぞれの役割と責任を果たしつつ、町民の主体的な参加と協働を推進し、より住みよいまちを築きます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	町民アンケートにおける町政に積極的に参加したいと思う町民の割合	5.1%	8%	10%
2	町民アンケートにおけるまちづくりアンケートの回収率	(抽出の場合) 52.9%	(抽出の場合) 54.0%	(抽出の場合) 55.0%

●単位施策 参加と協働のための人づくり、協働によるまちづくりの推進、町民参加の推進

7-1-3 魅力ある地域活動の推進

●目的・目標

自分たちの住む「地域とのつながりを持てる」まちをつくることで、町民の主体的なコミュニティ活動への参加を促進し、魅力ある地域活動を進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	幸福度調査における地域社会との関係への満足度	3.62	3.65	3.7

- 単位施策 コミュニティ活動の支援、コミュニティ活動の人材育成支援、コミュニティ参加意識の高揚

7-1-4 多様な交流の展開

●目的・目標

近隣町村、都市部、国内外等の人たちとの交流を深めることにより、斜里町の良さを知ってもらい、住んでみたい・住み続けたい愛されるまちとなることをめざします。

	成果指標	H25	H30	H35
1	町外からの寄付件数	429件	440件	450件
2	民間交流団体登録会員者数(国際交流推進協議会・ねぶた保存会・ふるさと斜里会)	61人 264人 796人	70人 270人 800人	80人 270人 800人

- 単位施策 姉妹町、友好都市との交流の深化、ふるさと斜里会の活動支援、多様な交流の推進、移住促進情報の提供、国際交流活動の支援と環境整備

政策 7-2 社会変化に対応できる健康なまちの実現

7-2-1 効果的・効率的な行政運営

重点施策 12

●目的・目標

行政改革を計画的に推進するとともに、最小の経費で最大の効果をあげる行政運営を行います。職員個々の力を最大限に生かし、使命感と働きがいを持って職務を遂行できるよう、研修や福利厚生の実施に努めます。

また、近隣自治体との広域事業や、効率・効果の面で有効と思われる団体等との共同・連携について検討します。

	成果指標	H25	H30	H35
1	広域連携事業数	20事業	21事業	22事業
2	行革実施計画推進項目の実施率	-	90%	90%

- 単位施策 広域連携事務・事業の推進、人材育成の取組、職場環境整備の取組、行政評価システムの充実と活用、事務処理の効率化、幸福度の指標化と活用、公共施設等の長寿命化

7-2-2 足腰の強い財政基盤の確立

●目的・目標

財政基盤を確立し健全な財政運営を行うため、中期的な財政収支の試算を策定するとともに、自主財源の確保、行政経費の効率化等を進めます。

	成果指標	H25	H30	H35
1	連結実質赤字比率	0	0	0
2	実質公債費比率	15.3% (H24)	18%以下	18%以下

- 単位施策 財政運営の健全化、自主財源の確保、行政経費の効率化、特別会計等の経営基盤強化

発行・編集

斜里町総務部企画総務課

〒099-4192

北海道斜里郡斜里町本町12番地

TEL 0152-23-3131 FAX 0152-23-4150

<http://www.town.shari.hokkaido.jp>